

第2回子ども・子育て会議における意見のとりまとめ

※意見については、主旨を変えない範囲で一部加筆・修正しています。

委員からの意見	市の考え方等
子ども・子育て支援事業計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・どのような考え方で支援制度を作っていくのか。基本的な考え方、理念も含めて、どういう柱を立ててどういう骨格を作っていくのかという素案的なものを1回目、2回目の会議やニーズ調査も踏まえて提示していただきたい。 ・新制度は待機児童の解消と質の向上がうたわれており、それを進めていくことが大事だと思う。 ・ニーズ調査により量的に一定の結論が出ると思われるが、質的に充実させていくような総合的な検討をお願いしたい。 	<p>国の基本指針、子ども・子育て会議での意見等を踏まえ、基本理念等、事業計画の素案を提示してまいります。</p>
任意記載項目について	
<ul style="list-style-type: none"> ・父親の育児休業が取得されていないことは保護者のワークライフバランスの問題。企業への指導も含めて行政として何ができるか。保護者の働き方や過ごし方で子ども・子育て支援新制度は充実されていくのではないか。 ・育児休業の問題は行政、家庭、企業や地域を含め社会全体で取り組まなければならないということは理解されていると思うが、なかなか進んでいない。いろいろなところと連携しながらやっていかなければならない。 	<p>労働者の職業生活と家庭生活の両立について、子ども・子育て会議の意見等をお聞きしながら、検討してまいります。</p>

委員からの意見	市の考え方等
<ul style="list-style-type: none"> 子どもが病気になった時に休めないということが問題だと思う。子どものために必要な休みが十分取れるような労働環境を作っていくよう、行政として企業に働きかける必要があるのではないか。 	
教育・保育について	
<ul style="list-style-type: none"> 保育園でずっと残されている子供がかわいそうである。就業形態に合わせた保育所があればよい。 市民が幼稚園と保育園の違いをよく理解しているかどうか。それぞれの役目を市民がしっかり認識できるような機会を作っていかなければならない。 保育所の土曜日の利用が増え、保育士の対応が難しくなっている。職員の労働時間を守るための方策が建てられていないのが現実。事業計画にはそういう部分を考慮していただければと思う。 	<p>「子どもの最善の利益」を考慮しつつ、保育ニーズの多様化への対応についても、検討してまいります。</p> <p>幼稚園と保育園の違いについては、新制度の周知に合わせ、正しい理解が図られるよう周知してまいります。</p> <p>保育認定の公定価格の設定については、国の子ども・子育て会議において、土曜日を含めた年間約 300 日間の開所を基本として検討が進められていることから、今後の国の動向を注視してまいります。</p>
地域子ども・子育て支援事業について	
病児・病後児保育事業について	
<ul style="list-style-type: none"> 病児保育は季節によって需要が異なる。需要が増える時にキャンセル待ちも大量に発生している。需要の増加にどう対応するか、市でもぜひ検討していただきたい。 保護者から病児保育の要望が多い。保育園併設型の施設が設置できるよう望んでいる。 	<p>病児・病後児保育事業の今後の在り方については、子ども・子育て会議の意見等をお聞きしながら、検討を進めてまいります。</p>

委員からの意見	市の考え方等
放課後児童クラブ，児童館・児童センターについて	
<ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全に放課後を過ごせるということが大事である。児童館や児童センター，学童クラブ等を充実していくべきである。 ・児童館や児童センター，学童クラブ等の施設の違について，市民への周知が必要である。家庭の状況に合った利用の仕方が必要であり，広報等で周知していただければよい。 	<p>放課後児童クラブ，児童館・児童センターの充実については，ニーズ調査の結果を踏まえ，子ども・子育て会議の意見等をお聞きしながら，検討を進めてまいります。</p> <p>例年，2月15日号広報に，放課後児童クラブ，児童館・児童センターの利用案内を掲載していますが，施設の違等について分かりやすく掲載するなど，内容の見直し等を行ってまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・(学童保育の) 条例について，意見を出していきたいが，相談できる時間があるのか知りたい。 	<p>国における政省令の制定等の動向によりますが，関係者から意見を聞く時間について，十分確保できるよう進めてまいります。</p>
その他	
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て時期の保護者世代は経済的に一番厳しい時期にある。国や市の援助をもっと強めていただきたい。 ・若い世代の経費の負担が大きい。そこを解決してあげることが大事である。 ・どんなものでも費用の軽減があれば，これから子供を産み育てようとする保護者にはとても後押しになる。市ではどのような費用の軽減を図っていこうとしているのか。 	<p>保育料については，市独自の措置として，平成11年度から保育料の引き下げを行ってきており，平成25年度においては，22年度から引き続き国の徴収基準に対して当初予算ベースで33.2%の軽減を行っております。</p> <p>その他の軽減策の導入については，市の財政状況等を踏まえて，可能な事業があるか検討を進めてまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・児童家庭相談について，年間1,500件以上の対応をしているという状況があり，児童家庭相談への対応ができる体制の確保，相談窓口の充実をお願いしたい。 	<p>正職員2名と家庭相談員2名により，児童家庭相談に対応しており，今後も現行体制を維持してまいります。</p>

委員からの意見	市の考え方等
<ul style="list-style-type: none"> インターネットなども活用されているが、「広報もりおか」なども注目されている。子連れでも出かけやすく楽しめる場所の紹介など、情報をどんどん発信してほしい。 	<p>広報もりおかは、限られた紙面ですが、積極的に活用し、子ども・子育て支援等に関する情報提供に努めてまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 「子育てをつらい」と感じている方も多い。市ではどのようにして減らしていこうとしているのか。 	<p>子育て中の親を支援するため、乳児家庭全戸訪問等事業やつどいの広場管理運営事業や地域子育て支援センター事業等に取り組む他、児童家庭相談の窓口も設置しており、これらの事業の周知に努めてまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 市への要望として「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」が一番多かった。市は検討する予定があるのか伺いたい。 	<p>「赤ちゃんの駅 DAKKO」の普及を図り、乳幼児を連れた保護者が安心して外出できる環境の整備を進めます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 幼児教育・保育における区域設定（地区ブロック）について、市民に誤解のないように周知・説明してほしい。 	<p>事業計画の公表・周知の際には、教育・保育施設の選択が、居住する区域内の施設のみに限定されるものではないことを丁寧に説明してまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 来年4月1日に向けてそれぞれ動き出せるよう公定価格等の早めの情報提供、会議設定をしていただきたい。 	<p>公定価格については、国の子ども・子育て会議で審議が進められており、その動向を注視しながら、関係団体等には適時適切に情報提供してまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 年齢や区分によって詰める内容が異なるので、部会を作って詰めていくほうがよい。 	<p>部会における審議事項等を検討し、子ども・子育て会議にお諮りした上で、部会を設置してまいります。</p>